

ウェーブロック・アドバンスト・テクノ



# 車向けフィルム新工場

## 岩手・一関市、5月稼働

ウェーブロック・アドバンスト・テクノ ロジィ（東京都中央区、島田康太郎社長）は、岩手県一関市に自動車向けフィルムの新工場を整備する。親会社の工場を改修し、同市内にある現工場を移転、延べ床面積を既存工場の約2.5倍に拡張する。投資額は約3億5000万円。CASE（コネクテッド、自動運転、シェアリング、電動化）の普及拡大によるティエスプレー向けフィルムの受注増を見込む。4月までに完全移転し、5月上旬の稼働を目指す。

### CASE対応で増産

親会社のウェーブロックホールディングス（HD）が所有する工場を改修し、新工場と併用する。敷地面積は4万平方メートル。当分の生産能力は変わらないが、受注状況に応じて設備を増強する。将来的に生産能力を

2倍程度に引き上げる計画だ。

一関工場で生産する透明多層フィルムは約8割が自動車向けで、センターインフォメーションディスプレイやヘッドアップディスプレイ（HUD）などに採用されている。表面硬度と耐衝撃性を両立し、耐光性にも優れているのが強み。車載ディスプレイやタッチパネルの搭載拡大などを追い風に受注が伸びている。

現在、古河工場（茨城県古河市）で生産する金属調加飾フィルムも需要の高まりを受け、一関工場の一部生産する計画。同フィルムは100色以上のカラーバリエーションや自動運転に対応した電波・光線透過性、環境負荷低減などが特徴。自動車の外装・内装部品向けに国内外のメーカーから引き合いが増えている。

▲親会社の工場を改修し、移転拡張（移転先の工場は岩手県一関市）